歳　入**⇒詳細はP5参照**

* 市税については、税制改正及び企業収益の減等による法人市民税の減などにより、

4年ぶりの減となったものの、

* 特別定額給付金の支給など新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増等に伴い、

国庫支出金が増となったことなどにより、

* 歳入総額は、過去最大の2兆486億9,200万円となっています。

歳　出**⇒詳細はP7参照**

* 元金償還金の減等により公債費が減となったものの、
* 新型コロナウイルス感染症対策関連経費として、特別定額給付金を支給したことなどに伴い、

行政施策経費が増となったことや、

* 淀川左岸線（２期）事業費等の投資的経費が増となったことなどにより、
* 歳出総額は、過去最大の2兆207億9,200万円となっています。

実質収支**⇒詳細はP9参照**

* 歳入から歳出を差引きした形式収支は、279億円の剰余となっており、
* そこから翌年度に繰り越すべき財源を差引いた実質収支は、
* 130億4,100万円の黒字と、引き続き黒字基調を維持しており、

平成元年度以降32年連続の黒字となりました。

市債残高**⇒詳細はP9参照**

* 一般会計における令和2年度末市債残高は、この間、起債を極力抑制してきたことにより、

2兆4,528億3,400万円と、7年連続の減となりました。

* また、除く臨時財政対策債は1兆5,808億9,500万円、
* 全会計の市債残高でも3兆1,831億3,000万円となり、ともに16年連続の減となりました。

　新型コロナウイルス感染症対策関連経費**⇒内訳はP11参照**

* 令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策関連経費は、3,599億3,000万円となりました。

※ 各資料においては、金額を百万円単位で説明しています。〔参考としてP14に用語の解説を記載しています。〕